

ここ通編集委員によるレポート

4月5日、第34回県民健康調査検討委員会が開催された。原発事故当時18歳以下と事故後1年間に生まれた子どもが対象の甲状腺検査は、4巡目に入り、25歳の節目検診（平成4年生まれ）も実施されている。小児甲状腺がん及び疑いと診断されたのは、前回から5人増え210人となった（先行検査116人、2巡目71人、3巡目21人、4巡目2人）。集計外の県立医大で手術した12人（良性1人含む）と25歳の2人を加えると224人となる。手術を受けた181人中180人が、**がん**と確定している。2700人をこえる経過観察患者のその後の甲状腺がん発症の人数は公表されない。

これまで検討委員会では、甲状腺がんが多発していると認めながらも、一部の委員が過剰診断説をあり、それに県立医大の医師らが同調したことも影響して、検査受診率が低下している。福島県も表向きは受診率の低下を問題としているが、県民への積極的な働きかけをしてこなかった。事故当時18歳以下の子どもへの甲状腺検査受診を促す『甲状腺検査のお知らせ』も、検査のデメリットを強調する文面への変更が検討されている。

今回の委員会では、過剰診断説の立場から現在の甲状腺検査に反対する津金委員が、検査による小児甲状腺が

んの早期発見のメリットを否定する理由として、「検査で発見された時点で、ほとんどリンパ節転移がある。早く見つける根拠が十分ではない」と発言して参加者を驚かせた。検査で小児甲状腺がんが見つかったケースのほとんどで、すでにリンパ節転移をしていることを認めたのだ。これが、検査で早期発見する意味がない論拠と言えるのか？医師としての資質を疑わざるをえない暴論だが、この発言に示されているように、福島子どもたちがきわめて深刻な状況にあることは明らかだ。じっさい、県立医大は、転移や再発の現状について、学会や論文では発表している。県民にはいっさい公表することなく。

甲状腺がんは予後がいいと言われるが、あくまでも大人のデータであり、小児甲状腺がんは100万人にひとりと言われるほど珍しいがんだった。チェルノブイリでは、声を上げる医師らが出て、小児甲状腺がんの多発を被ばくの影響と認めさせた。見せかけの復興のために、子どもたちを犠牲にしてはならない。原発事故直後に双葉町の11歳の女兒が100ミリシーベルトの甲状腺被ばくをしていた事実が、今年になって明らかになった（東京新聞2019.1.21）。国はこのことを知りながら公表してこなかった。甲状腺検査の縮小・打ち切りなど絶対あってはならない。

〈甲状腺がんまたは疑いの子ども〉

2018年12/31現在

	先行検査	本格検査		
		2巡目	3巡目	4巡目
甲状腺がん・疑い	116人	71人 <small>1巡目結果内訳 未受診1人 A1:33人 A2:32人 B:5人</small>	21人 <small>2巡目結果内訳 未受診3人 A1:4人 A2:9人 B:5人</small>	2人 <small>3巡目結果内訳 未公表</small>
手術実施	102人	52人	15人	0人
がん確定	101人	52人	15人	0人
年齢 (震災当時)	6歳～18歳	5歳～18歳	6歳～16歳	未公表
性別	男性39人:女性77人	男性32人:女性39人	男性8人:女性13人	男性1人:女性1人
腫瘍径	5.1mm～45.0mm	5.3mm～35.6mm	5.6mm～33.0mm	未公表
対象人数	36万8000人	38万1000人	33万6000人	29万3000人
対象者	原発事故当時18歳以下	原発事故当時18歳以下 +事故後1年間に生まれた子ども		
実施人数	300,476人	270,540人 (2018年3/31現在)	217,676人 (2018年12/31現在)	76,979人 (2018年12/31現在)
実施年度	2011年10月～2015年4月	2014年4月～2018年3月	2016年5月～	2018年4月～
二次検査対象者	2,293人	2,227人	1,487人	427人
A1・A2以外	1,379人	1,398人	891人	81人
穿刺(せんし)細胞診受診	547人	207人	64人	6人
穿刺細胞診受診率	39.7%	14.8%	7.2%	7.4%

集計外 14人 ①節目の検査 25歳時 2人
②県立医大で手術 12人（良性1人含む）

〈がんまたは疑い 市町村別内訳〉

良性1人は含まない

国が指定した避難区域等の13市町村	中通り地方	会津地方
川俣町 2	福島市 22	榎枝岐村 0
浪江町 4	二本松市 6	南会津町 0
飯館村 0	本宮市 6	金山町 0
南相馬市 6	大玉村 2	昭和村 0
伊達市 9	郡山市 43	三島町 0
田村市 5	桑折町 1	下郷町 1
広野町 0	国見町 0	喜多方市 3
楢葉町 0	天栄村 0	西会津町 0
富岡町 1	白河市 7	只見町 1
川内村 1	西郷村 2	猪苗代町 1
大熊町 3	泉崎村 1	磐梯町 0
双葉町 0	三春町 1	北塩原村 0
葛尾村 0	須賀川市 5	会津美里町 1
不明(※) 5	鏡石町 1	会津坂下町 1
計 36	中島村 1	柳津町 0
	矢吹町 1	会津若松市 8
	石川町 1	湯川村 1
	矢祭町 0	不明(※) 2
	浅川町 0	計 19
	平田村 1	
	棚倉町 2	
	埴町 1	
	鮫川村 0	
	小野町 0	
	玉川村 0	
	古殿町 0	
	不明(※) 8	
	計 112	

※3巡目から「避難区域」「浜通り」「中通り」「会津地方」の4地域別の公表になったため、市町村別の人数は不明。4巡目は地域も不明のため合計数は合わない。